

診察サービス

MRI検査 案内



放射線科の

方針

あらゆる局面での検査において、
高精度の画像撮影、診断を迅速に実施。

身体の断面を、あらゆる角度から映し出すことが出来るMRI検査は、診断の有用な裏付けになると同時に、その後の適切な治療方針の決定、また手術にも活かすことができます。そのため、当院の放射線科では、専門医と診療放射線技師とが、カンファレンスや勉強会を行なうなど、より精度の高い画像を得るために、全力を注いでいます。

また、救急で搬送された患者さまの検査や、紹介による急ぎの検査依頼にも速やかに対応。放射線技師を中心に、検査に連なるスタッフが連携し、あらゆる局面での検査を可能にしています。

なお、診療所の先生が、当院の高度検査技術を活用していただく際には、先生の要請により診断も行なっています。

概略



脳や神経などの小さな病気を
を見つけるために行なわれる検査です。

MRI検査とは、磁気共鳴断層撮影装置を使用した検査をいいます。人体の内部を、任意の断面像で調べることで、頭部、胸部、腹部、手足など、身体のさまざまな部分（血管や骨のなかも含め）の検査が可能。脳神経外科や外科、整形外科等、さまざまな診療科での診断、治療に使用されています。

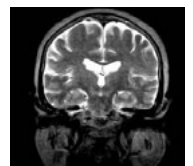
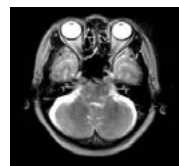


構造



磁気・電波を利用し、あらゆる方向から
体の断層写真を撮影します。

MRI装置は放射線を使用せず体に磁場をかけ、体内の水素分子からの信号をもとにして任意断面の画像を構成する非侵襲的な装置です。当院のAIRISIは、他のMRI装置と比べ低磁場(0.3テスラ)であるために比較的雑音も少なく、また、オープンガントリー型なので視界も広く、閉所恐怖症の方でも安心して検査を受けていただくことができます。



特長



体内の精密な画像化により
適切な診断・治療に役立っています。

MRIの検査は、磁気を用いて画像を作るため、X線被曝がなく非侵襲的な検査です。X線写真・CT検査などでは分かりにくい骨に囲まれた部位や、軟部組織（靭帯、半月板、椎間板）などの描出に優れ、また造影剤を使用することなく血管を立体的に描出することができます。

